

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 7 区分
【発行日】 令和 6 年 2 月 1 日 (2024.2.1)

【公開番号】 特開 2022-124205 (P2022-124205A)
【公開日】 令和 4 年 8 月 25 日 (2022.8.25)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-156
【出願番号】 特願 2021-21829 (P2021-21829)
【国際特許分類】
 B 6 5 H 1/26 (2006.01)
【F I】
 B 6 5 H 1/26 3 1 2 E

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 1 月 24 日 (2024.1.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 0 9
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0 0 0 9】

20

本発明に係る画像形成装置は、装置本体と、前記装置本体に装着される装着位置と前記装置本体から引き出される引出位置との間で移動可能であって、用紙を収納する樹脂製の給紙カセットと、前記装置本体に設けられ、前記給紙カセットを前記装着位置と前記引出位置との間で移動可能に案内する案内部材と、前記装着位置にある前記給紙カセットから給送される用紙に画像を形成する画像形成手段と、前記案内部材に取り付けられ、前記給紙カセットを支持する支持部材と、前記給紙カセットの所定位置に取り付けられた金属製の補強部材と、を有し、前記補強部材と前記給紙カセットはそれぞれ、前記給紙カセットが前記装着位置と前記引出位置との間を移動する際に前記支持部材と摺動する摺動面を有しており、前記給紙カセットが前記装着位置にある状態で前記支持部材は前記補強部材の摺動面に接触し、前記給紙カセットが前記引出位置にある状態で前記支持部材は前記補強部材の摺動面に接触せず前記給紙カセットの摺動面に接触することを特徴とする。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

装置本体と、前記装置本体に装着される装着位置と前記装置本体から引き出される引出位置との間で移動可能であって、用紙を収納する樹脂製の給紙カセットと、前記装置本体に設けられ、前記給紙カセットを前記装着位置と前記引出位置との間で移動可能に案内する案内部材と、

40

前記装着位置にある前記給紙カセットから給送される用紙に画像を形成する画像形成手段と、

前記案内部材に取り付けられ、前記給紙カセットを支持する支持部材と、

前記給紙カセットの所定位置に取り付けられた金属製の補強部材と、を有し、

前記補強部材と前記給紙カセットはそれぞれ、前記給紙カセットが前記装着位置と前記引出位置との間を移動する際に前記支持部材と摺動する摺動面を有しており、

50

前記給紙カセットが前記装着位置にある状態で前記支持部材は前記補強部材の摺動面に接触し、前記給紙カセットが前記引出位置にある状態で前記支持部材は前記補強部材の摺動面に接触せず前記給紙カセットの摺動面に接触することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記支持部材は、略円板状でその中心軸まわりに回転可能な回転体であって、

前記給紙カセットを前記装着位置と前記引出位置との間で移動させた際に、前記給紙カセットに当接することによって前記回転体が回転することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記給紙カセットと前記補強部材は、前記給紙カセットが前記装着位置と前記引出位置との間で移動する際に、一体となって移動することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記支持部材は、摺動グレード樹脂で成型された非回転部材であることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

10

20

30

40

50